
令和5年度予算第二特別委員会質問要旨

○ 局別審査

令和5年3月6日

質問者（質問順）

- 1 横山 勇太朗 委員（自民党）
- 2 酒井 誠 委員（自民党）
- 3 梶尾 明 委員（立憲党）
- 4 源波 正保 委員（公明党）
- 5 荒木 由美子 委員（共産党）
- 6 小松 範昭 委員（自民党）

財 政 局

局 別 審 査

1 横 山 勇 太 朗 委 員 (自 民 党)

1 令和5年度予算案と新たな財務会計システムについて

- (1) 令和5年度予算編成を振り返った所感について伺いたい。
- (2) 令和5年度予算における減債基金の臨時的な活用の考え方について伺いたい。
- (3) 減債基金残高の今後の見通しについて伺いたい。
- (4) 予算編成実務における課題に対する認識について伺いたい。
- (5) 新たな財務会計システムの導入により期待される効果について伺いたい。
- (6) 新たな財務会計システムの運用開始に向けて必要な取組について伺いたい。
- (7) 財政ビジョンで掲げた「持続的な発展」に向け、新たな財務会計システムを活用して、市内一丸となって取り組むことが重要と考えるが、見解を伺いたい。
(要望) 本市の抱えるその時々課題にしっかりと向き合い、こうしたシステムも使いながら、未来の横浜を見据えた財政運営を進めていただくことを要望する。

2 財政局における予算編成と機構改革について

- (1) 令和5年度予算編成の進め方について伺いたい。
- (2) 令和5年度予算案のポイントについて伺いたい。
- (3) 財政局予算案で取り組んだ財源創出の取組について伺いたい。
- (4) 令和5年度の組織運営の体制に向けて、どのような機構改革が行われるのか伺いたい。
(要望) 予算案と組織機構の再編による相乗効果が、5年度以降、しっかりと形に表れるよう取り組んでいただきたい。

3 ファシリティマネジメントの推進について

- (1) ファシリティマネジメントを推進することに至った背景や課題認識について伺いたい。

- (2) ファシリティマネジメント推進の基本的な考え方について伺いたい。
- (3) 全庁的にファシリティマネジメントを進める仕組みについて伺いたい。
- (4) 職員の意欲向上や人材育成の進め方について伺いたい。
- (5) 財源創出の視点をしっかりと意識しながら土地や公共施設の適正化を進めるべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (要望) 各資産における価値の最大化を目指して、財政局が率先して取り組んでいただきたい。

4 ESG債について

- (1) ESG債とはどのようなものか伺いたい。
- (2) ESG債発行に必要な認証とはどのようなものか伺いたい。
- (3) 令和4年度に発行したESG債と市債活用額との関係について伺いたい。
- (4) ESG債をサステナビリティボンドとして発行した理由について伺いたい。
- (5) 今回のESG債で調達した資金の具体的な使い道について伺いたい。
- (要望) ESG債の発行は、事業のPRにもつながるため、より幅広い事業への活用を検討していただきたい。
- (6) 今回のESG債発行の成果について伺いたい。
- (7) 投資家がESG債を購入する理由について伺いたい。
- (8) 今後の市債発行における取組の方向性について伺いたい。
- (要望) 市債発行については、今後も様々な工夫を積極的に行っていただきたい。

5 ふるさと納税について

- (1) 中期計画におけるふるさと納税の目標値達成に向けた取組について伺いたい。
- (2) 寄附の募集に係る経費と実収入との関係について伺いたい。
- (3) 令和5年度のふるさと納税施策への意気込みについて伺いたい。
- (要望) ふるさと納税について、市民の皆様の関心が高いため、ぜひともしっかりと進めていただきたい。

1 令和5年度予算案と施策の推進について

- (1) 一般会計予算案全体の分野別予算の状況について伺いたい。
- (2) 子育て支援施策の充実のほか、令和5年度予算案において意識したポイントについて伺いたい。
- (3) 本市が抱える様々な課題の解決に向け、バランスよく施策を進めていくべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (要望) 現在の市民、将来の市民のどちらにも胸を張れる市政運営を進めていただきたい。

2 公共工事を担う建設業への支援について

- (1) 公共工事の積算に用いる資材単価の改定頻度について伺いたい。
- (2) 公共工事における施工時期の平準化の取組状況について伺いたい。
- (3) ASPの活用推進により期待できる効果について伺いたい。
- (4) ASP活用の取組状況について伺いたい。
- (要望) 本市の公共工事発注関係者が一丸となって建設業の働き方改革に取り組んでいただくことを要望する。

3 電子入札システムの利便性の向上について

- (1) 契約書の電子化の具体的な内容について伺いたい。
- (2) 契約書の電子化により期待できる効果について伺いたい。
- (要望) 契約書を電子化することで感染予防対策や事業者の利便性の向上に大きく資するため、確実に推進していただきたい。

4 税務手続のデジタル化による納税者の利便性向上について

- (1) 特別徴収税額通知書の電子化による具体的な効果について伺いたい。
- (2) 税証明のスマートフォン申請の導入状況と今後の予定について伺いたい。
- (3) 税証明のスマートフォン申請の拡充等による具体的な利便性向上の内容につ

いて伺いたい。

(4) その他の税務手続における直近のデジタル化の事例について伺いたい。

(5) 税務手続のデジタル化への意気込みについて伺いたい。

(要望) 税務手続について、市民の皆様の利便性向上に取り組んでいただきたい。

(要望) 子育てしやすいまちはもちろんのこと、誰もが住みやすいまち横浜を目指して財政局も取り組んでいただくことを要望する。

3 梶 尾 明 委員（立憲党）

1 令和5年度予算案と持続可能な財政運営について

- (1) 令和5年度予算案における市債活用額と中期計画期間における活用見込みについて伺いたい。
 - (2) 令和5年度予算案における市債活用額が中期計画等での見込みを下回っている理由について伺いたい。
 - (3) 中期計画で見込んだ市債活用額5,300億円という枠を最大限活用するという考え方もあると考えるが、見解を伺いたい。
 - (4) 施策を推進していくことと併せ、将来世代の過度な負担を抑制する取組にも着実に取り組んでいくことが重要であると考えているが、見解を伺いたい。
- (要望) 本市が将来にわたり財政の健全性の維持と、市民のための施策を推進していただける都市であり続けることを期待する。

2 保有資産の戦略的な利活用について

- (1) 庁内ワーキングの取組の狙いについて伺いたい。
 - (2) 庁内ワーキングの実施回数と参加者の状況について伺いたい。
 - (3) 庁内ワーキングの具体的な内容と成果について伺いたい。
 - (4) 資産情報のオープンデータ化の取組について伺いたい。
 - (5) 公民連携の今後の方向性について伺いたい。
- (要望) 公民連携に取り組む人材育成と保有資産の利活用について、財政局が中心になって発展的な取組を進めていただきたい。

3 公共建築物の再編整備について

- (1) 横浜市公共建築物の再編整備の方針を策定以降の公共建築物の再編整備の取組状況と検討件数について伺いたい。
- (2) 公共建築物の再編整備の検討の大多数は学校や市営住宅としている理由について伺いたい。

- (3) 上永谷駅前と港南中央駅周辺の2つのエリアで既存の公共用地を有効活用した施設整備の経過について伺いたい。
- (4) 公共建築物の再編整備にあたっては広域的な視点を持つことも重要と考えるが、見解を伺いたい。
- (要望) 今後も財政局がリーダーシップをとって、公共建築物の再編整備に取り組んでいただくことを要望する。

4 森林環境税と横浜みどり税について

- (1) 森林環境税と横浜みどり税の違いについて伺いたい。
- (2) 森林環境譲与税の本市における活用の考え方について伺いたい。
- (3) 横浜みどり税と森林環境税について、市民の理解が深まるよう、更なる取組が必要と考えるが、見解を伺いたい。
- (要望) 税金の目的や使われ方をしっかり広報する等、行政として納税者の理解を得られるような努力を続けることを要望する。

5 債権管理の適正化と未収債権の縮減に向けた取組について

- (1) 未収債権額の前中期計画における縮減状況と現中期計画の目標値について伺いたい。
- (2) これまでの未収債権の適正管理と縮減に向けた取組の中で見えてきた課題について伺いたい。
- (3) 今回、拡充された未収債権の適正管理と縮減に向けた弁護士活用の具体的内容について伺いたい。
- (4) 未収債権の適正管理と縮減に向けた新たな取組の狙いについて伺いたい。
- (要望) 弁護士という外部の力を活用しながら、債権管理と未収債権の縮減を進めていただきたい。

6 財政広報について

- (1) 令和5年度の財政広報の考え方について伺いたい。
- (2) ワンストップ財政情報における市民目線の工夫について伺いたい。

(要望) ワンストップ財政情報が、財政に詳しい方にも、詳しくない方にもわかりやすい発信となることを期待する。

(3) 市民目線に立った財政広報に向けた決意について伺いたい。

(要望) 財政広報にあたっては市民の目線に立った情報発信を要望する。

4 源 波 正 保 委員（公明党）

1 令和5年度予算編成について

- (1) 見込まれた収支不足の解消策について伺いたい。
- (2) 苦勞した点について伺いたい。
- (3) 公民連携による財源確保の取組について伺いたい。
- (4) 今後の財源確保に向けた考え方について伺いたい。
- (要望) 財政局が各区局と連携し、財源確保に積極的に取り組んでいただきたい。
- (要望) 財政ビジョンを踏まえ、財政局が中期計画期間を越えた中長期的な視点を持ちながら、横浜市政の屋台骨として引き続き支えていただきたい。

2 ふるさと納税について

- (1) 寄附受入額の直近3年間の推移と令和5年度見込みについて伺いたい。
- (2) 令和5年度予算案の構成内訳について伺いたい。
- (3) 歳出が1億5千万円増額となった理由について伺いたい。
- (4) ふるさと納税委託を通じた取組強化の内容について伺いたい。
- (要望) 寄附者にとって魅力的な返礼品はもとより、寄附手続きの案内や簡略化なども選択基準の一つであるため、より利便性が向上されることを期待する。
- (5) 中期計画でふるさと納税の受入れ目標値を20億円とした考え方について伺いたい。
- (6) 政策局に財源確保推進課を置いてふるさと納税を一層推進する意気込みについて伺いたい。
- (要望) 政策局に業務が移管されても、ふるさと納税本来の趣旨に則り、税務部門等との連携はもとより、各局一丸となって受入れの増に取り組んでいただきたい。
- (要望) 本市の豊富な資源を全国へ広くアピールし、目標額を前倒して達成していくような力強いスタートを切っていただくことを要望する。また、目標額の達成時期の前倒しだけでなく、達成率200%を目指していただきたい。

3 資産活用における適正化の視点について

- (1) 適正化の視点として「量」と「質」を掲げた趣旨について伺いたい。
- (2) 令和4年度における市有地公募売却の実施状況について伺いたい。
- (3) 市有地公募売却を促進させていく上での取組について伺いたい。
- (4) 鶴見区北寺尾土地の公募状況について伺いたい。
- (5) 栄区野七里土地公募で工夫した点と期待する効果について伺いたい。
- (要望) 施策を進める上で、必要な財源を創出していくために創造と転換の観点からも、絶えず、適正化の取組を継続していただきたい。
- (6) これからの資産活用において財政局が果たす役割について伺いたい。

4 税務システムの再構築について

- (1) 再構築の進捗状況について伺いたい。
- (2) 再構築が市民生活へ与える影響について伺いたい。
- (要望) 全庁的にデジタル化・データ化の取組を進める中で、市民の生活実態を把握し、そこに必要な支援が行き届く施策の立案にも繋がっていくことを期待する。

5 電子入札システムの利用拡大について

- (1) 新たに利用対象とする契約について伺いたい。
- (2) 利用対象の拡大に関する課題について伺いたい。
- (3) 電子入札システムの取扱いに不慣れな事業者への対応について伺いたい。
- (4) 事業者が安心して利用するための取組について伺いたい。
- (要望) 再犯防止に関する施策の一つとして、入札契約制度における協力雇用主への優遇策導入について、実現に向けて検討を進めていただくよう要望する。
- (5) 財政局として再犯防止に係る取組を推進するため、入札契約制度における協力雇用主への優遇策を導入すべきと考えるが、見解を伺いたい。

1 基金の目的と用途について

- (1) 財政調整基金の設置目的について伺いたい。
- (2) 平成30年度から令和3年度までの財政調整基金残高について伺いたい。
- (3) 減債基金の設置目的について伺いたい。
- (4) 平成30年度から令和3年度までの減債基金残高について伺いたい。
- (5) 財政調整基金が平成30年度から令和元年度にかけて残高が減少した理由について伺いたい。
- (6) 新市庁舎整備は財政調整基金の取り崩しがなければできなかったのではないかと考えるが、見解を伺いたい。
- (7) 新市庁舎整備が財政調整基金の取り崩しに影響していると考えますが、見解を伺いたい。
- (8) 減債基金が令和元年度から令和2年度に残高が減少した理由について伺いたい。
- (9) 毎年度の予算編成で収支不足が見込まれる中、基金を取り崩さないようにすることが重要と考えるが、見解を伺いたい。
- (10) 今後の予算編成で見込まれる収支不足額に対する財源をどのように確保するのか伺いたい。

2 扶助費の状況について

- (1) 少子高齢化による中期財政見通しの扶助費への影響について伺いたい。
- (2) 令和5年度一般会計の中で扶助費が増加する要因となった事業について伺いたい。
- (3) 令和3年度に国が経済対策として実施した保育士等の処遇改善に係る国庫補助について伺いたい。
- (4) 国が手厚く全額補助を始めて、途中から地方負担に切り替えることに関する本市の考え方と国に対する要望状況について伺いたい。

(5) 必要な施策にかかる事業費は国がしっかりと負担すべきことを国に対して強く要望すべきと考えるが、見解を伺いたい。

(意見) 事業実施に必要な財源については、国が責任を持って担保するよう議会側からも応援していきたい。

3 今後の財政見通しについて

(1) 企業立地促進条例に対する評価について伺いたい。

(2) 企業立地促進条例について、税収効果があると認識しているのか伺いたい。

(3) 企業立地促進条例を推進することで企業誘致に繋がっているのかを今後判断していくべきと考えるが、見解を伺いたい。

(要望) 歳出抑制のためにも、企業立地促進条例の制度継続や助成額について検討していただきたい。

(4) 財政状況を良くするためには市債残高を減らすことが必要と考えるが、見解を伺いたい。

(5) 明石市の子育て支援に重点的に財源を充てることで生産年齢人口を増やし、税収も増やす考え方についての本市の考えを伺いたい。

(6) 旧上瀬谷通信施設地区のテーマパーク構想をこのまま実現していくと後年度負担が増え財政を硬直化させることに繋がると考えるが、見解を伺いたい。

(7) 旧上瀬谷通信施設地区のテーマパーク構想について国からの補助金などの財源措置を期待するのは甘いと考えるが、見解を伺いたい。

(要望) 横浜が選ばれる街になるためには貴重な緑を残すことが重要であり、将来の負担を見据え、むやみな再開発に突き進まないようにしていただきたい。

6 小松範昭委員（自民党）

1 未利用等土地の適正化について

- (1) 未利用等土地100ヘクタールの要因別内訳について伺いたい。
 - (2) 中期計画における未利用等土地の適正化目標について伺いたい。
 - (3) 未利用等土地の適正化が進んだ土地の面積について伺いたい。
 - (4) 用途転換の事例について伺いたい。
 - (5) 未利用等土地の適正化の今後の進め方について伺いたい。
 - (6) 未利用等土地の適正化の実効性を高めるための財政局のマネジメントについて伺いたい。
- (要望) 財政局が資産の統括部門として総合調整機能を発揮し、全庁一丸となって未利用等土地の適正化に取り組んでいただきたい。

2 廃校施設の利活用について

- (1) 利活用の検討を進めている廃校施設の数について伺いたい。
 - (2) 廃校施設の利活用にあたっての特有の課題について伺いたい。
 - (3) 用途廃止施設の活用・処分運用ガイドラインの改定の趣旨とそれに伴う庁内横断の検討の状況について伺いたい。
 - (4) 栄区旧庄戸中学校の公募事業のポイントと狙いについて伺いたい。
 - (5) 廃校施設の利活用を進めていく考えについて伺いたい。
- (要望) 廃校施設の利活用について、地域のニーズを捉え、着実に進めていただきたい。

3 公共施設の保全更新の取組について

- (1) 一般会計予算における公共施設の保全更新費の5か年の計上額について伺いたい。
- (2) 公共施設の保全更新費における今後の見込みと課題について伺いたい。
- (3) 今後の公共施設の保全更新における適正化の取組について伺いたい。

(要望) 一度整備した公共施設は、大事に使っていくことを基本としつつ、市民の皆様への安全・安心をお支えできるよう、保全や更新に取り組んでいただきたい。

4 税務システムの再構築と標準化について

(1) 税データを活用する上での課題について伺いたい。

(2) 税データの匿名化の具体的な方法について伺いたい。

(3) 税データを庁内で利用する際の注意点について伺いたい。

(4) 税データの有効活用方法について伺いたい。

(要望) 市民の皆様への個人情報やプライバシーを守りつつ、税データをビッグデータとして様々な分野で活用できるよう、検討を進めていただきたい。